



平成26年度

仙台市立西中田小学校 5年 総合的な学習の時間



見直そう 伝えよう 名取川

あの日わたしたちは名取川と出会った

親しもう 名取川

地域



自然豊かな名取川

私たちの町 西中田は
古代から川と共に歩んでいる

見直そう 名取川

環境

自然の厳しさ
人間の身勝手さ

それでも
たくましく生き抜くサケ



共に生きよう 名取川

防災



閉上の方々との出会い

2011年3月11日
東日本大震災
あの日を私達は忘れない
知る 考える 伝える
そして、名取川と共に

名取川について

名取川は、名取郡秋保町の「二ツ山」から東へ東へと流れているじゃ！
 長さはおよそ155kmで、前までは、水の量が少なくて水が枯れたのが、かまふさダムができてからは、水量の少ない川になってしまったのだ……

名取川は、神室岳から流れています。全長55kmの川です。下流は、閑上です。昔は、「あばれ川」とよばれていました。今は、直線のようになっていますが、昔は、いろいろな所につながっていて、川が広がっていました。それに、洪水などがたくさんあって、人々をこまらせたから、あばれ川とよばれるようになったそうです。

名取川の魚

～上流～
 ・イワナ・ヤマメ・アマゴ・アブラハヤ
 ・カジカ・シマドジョウ・アカサ

～中流～
 ・オイカワ・ヨシボクリ・アブラハヤ
 ・ウグイ・カワムツ・アユ・シマドジョウ

～下流～
 ・コイ・ウグイ・ウナギ・ボラ・ナマズ
 ・オイカワ・ピリンゴ・ドンコ・ドジョウ
 ・スズキ・フナ・マハセ



いびき目は、タモロコです。名取川の上流～中流にすみついています。コイ科で移動種です。



いびき目は、ミズハゼです。体長6～7cm日本各地に生息しています。石の下にすみついています。



いびき目は、マハセです。ハゼ科で名取川の河川から、合流点までの間にすみついています。

名取川のごみ



名取川に行くと、川原などにいろいろなごみが落ちています。するとお金がかかるぞだごみ。バーベキューで使った野菜のへた・根、ビニールぶくろ、花火のモエかす、何か分からないものまで、大小、形など、さまざまのごみがすてられています。

ごみによって、川の水がきたなくなったり植物が育たなくなったり、良いことは一つもありません。お片づけをしない、ごみ拾いをするなどで、少しでもごみを減らしていかなければならないのです。

名取川のサケ

魚の一生

次に私達が調べたのは魚！私達が知らないことも、たくさんあって、びっくりしてよかったです。見てね！魚の一生スタート！

～魚の旅の始まり～

ぼくたちは、太平洋へ旅に出るんだ。北はアメリカ方面など、季節によって移動しているよ！

3年～4年の年月をかけて、海を回遊したわたしたちは、ふるこの川にもどってきたの？

ぼくの弟は、旅の途中で死んでしまったんだ。ここまでたどりつけるのは、1万の100匹のうちの2～3匹くらいなんだ。

私のおなかには、くらんでいるの。残りの力をふりしぼって、私のおなかから約3000個ものたまごを産むのよ。

7474... 魚は鬼、たぶりもすごく大変な旅をしているんだね。その後をハカセに聞いてみよう！

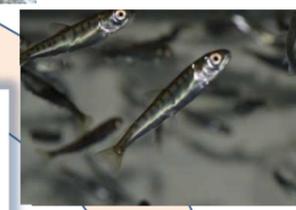
サケはその後死んでしまったのじゃ。たけこの死んだ後の死かいは、鳥、タヌキ、キツネの栄養になって、しっかりと目を果たしているのじゃ。写真日は魚じゃ。



奇跡のサケ

サケは、約4年で生れた川にもどってきます。

秋に私たちが見たサケは、東日本大震災のときに海にでたサケです。津波にもたえて海で大きくそだたサケです。そのサケの卵を私たちはそだてることにしました。



名取川下流「閑上」

閑上は名取川の下流です。閑上は、東日本大震災で大きな被害を受けました。閑上朝市も被害を受けました。朝市にはたくさんの観光客が訪れていました。

閑上は海もきれいです。魚もいっぱいいて、鳥も来ます。よく見ると、東日本大震災での被害でたくさんの家が流され、きれいな景色も津波にうばわれました。現在は、堤防工事をしています。時間をかせぐために作られています。

閑上は、東日本大震災で大きな津波にあい、多くの命が失われた場所です。

この家も、壊れてしまいました。震災前は、この家だったのに……

わたしたち5年生は、また津波のこわさというものを、まじまじと見ています。だから、震災にあつた人の話を聞くと、「命の大切さ」ということを忘れてはいけない、と言っていました。おなさんも命の大切さを教えてください。



3つのRから5つのRへ

今までは、リユース、リデュース、リサイクルを合わせて3Rだったのが、最近になって、「リデュース」ごみになるものをもらわない、「リペア」こわれたものを修理して使うを合わせて5Rという考え方に広がっているようです。

リユース…再使用する。
 リデュース…リサイクルとごみを出さないこと。
 リサイクル…資源として再利用する。
 リデュース…ごみになるものを減らす。
 リペア…こわれたものを修理して使う。

未来の名取川を考えよう

未来の名取川

1 水がきれいな名取川

できること

- ・ゴミを少なくする
- 家や学校でのゴミを少なくする。
- 物を大切する

例

- ①給食を残さない
- ②植物にお米のとぎ汁を与える。

2 ゴミが少ない名取川

できること

- ・2ヵ月に1回のゴミ拾い
- ・名取川にゴミ箱を作る
- ・ポスターで呼びかける

3 生き物(魚・鳥・昆虫)がいる名取川

できること

- ・小魚を食べるブラックバスなどを減らす。
- ・植物を増やす。

4 植物が多い名取川

できること

- ・植物を植える。
- ・雑草をぬく。

5 安全な名取川

できること

- ・二酸化炭素を減らす。
- ・2ペーシのようなことをする

6 人に好かれる名取川 (有名な名取川)

できること

- ・1回〜10回の名取川にする。
- ・川遊びができる川にする。
- ・名取川でいろいろな活動をする。

このようなことをすると
身近な環境を良くし、名取川
の環境にもつながることが
あります。

こんな名取川にしたい!

- ・生き物を増やしたい
- ・人の関わりのある名取川にしたい
- ・もと自然豊かな川にしたい
- ・たぶんの人たちが観光しにくような人気の川にしたい。

名取川を守るには、先ほどのしょうかいでは、車を使わない、電気自転車を使う、ゴミ拾いをするなどでもわざわざ車を買いかえる車を使わないと不便、ゴミ拾いをする日にちかない、といいて、あきらめてしまう人もいられるかもしれません。でも、ほんの小さなことでもいい人です。名取川まではいけなくても、周りの空気が良くなっても、もしかしたら名取川の環境が良くなるかもしれないのです。みんながその気持ちを持つことが大切なのです。

多くの考える名取川

中田地区・西中田地区の方へ、あまり感心を持ってもらえていない。⇒名取川の鬼力を発信していく。

・生き物がどんどん減ってきている

・約60年前、名取川には、うなぎ、えびなどもいたが、今は、あや川魚などしかいなくなった。⇒名取川の環境を良くしていく。

名取川の環境を良くするには

- ・車を使う回数を減らす。
- ・レジ袋ではなくエコバッグを利用する。
- ・身の回りに植物物を植える。

⇒こうゆうことをしていくと、名取川に生き物や魚もどってくるだろう。

↓

こうすると名取川に少しずつ名取川に、木植物や魚、虫などがもどってくるだろう。

西中田小学校 5年生

